

# 釧路南ロータリークラブ会報

第11回 例会報告 2022.9.16 通算1898回

・点 鐘 菊地会長

みなさんこんにちは。先週の献血例会は欠席して申し訳ありません。

・ロータリーソング

「それでこそロータリー」



ソングリーダー 小向 建一会員

また、献血されたメンバーの方々には佐久間会員、亀井会員、佐野会員、澤山会員、長倉会員、石井会員、ご家族で亀井会員の妹さん、石井会員の奥様でした。多数のご協力感謝いたします。

金、土と富山県にブロックミーティングで出張だったのですがちょっとした珍道中がありまして、帰る前の日に黒部ダムに行ってみたくらいと思い、検索したら片道電車で4時間かかることを知り無計画だったので断念し、向こうの会社の方からここ行ったら・・・といわれたところが、その会社がやっているサッカー場などがある人口9万人程の射水市にあるオリバースポーツフィールドというところで釧路で言うところの運動公園のようなところで海のそば、試合も何もないので人気なし、タクシー降りたはいけど戻りの交通手段が分からない、誰もいない西港にポツンと降ろされた気分でした。タクシー返さなければよかったと後悔し民家があるところまでとことこ歩き家はぼつぼつあるけど人気がなく、バス停を発見したんですが土日のみ運行、しかも電話で予約しないと来ないという、もう一つのマイクロバスみたいのが来てすかさず乗り運転手さんにどこまで行くの？と言われた瞬間、人気があるところまでお願いします！は？と言われ結局乗れず、タクシー会社に電話してもそんなところ行けないと断られ、お金は持っているのにこの場から動けないという絶望感を味わいました。結果2時間くらいさまよってタクシーに乗ることができテンション低めで 高岡大仏と高岡城跡を見て富山市に戻ってこられた安堵感で、

・入会記念祝

石井 昌宏会員 H28. 9. 16 (6年目)

・誕生祝

工藤 ゆかり会員 S32. 9. 23 (65歳)

・会長挨拶



会議より疲れたという珍道中でした。

それでは本日のプログラムは「基本的教育と識字率向上月間」ということで担当はクラブ運営委員会となっています。

本日もどうぞよろしく願いいたします。

## ・幹事報告



- \* ハイライトよねやまが届いております。
- \* 先週の例会で講師の方が仰ってありました「釧路南ロータリークラブ専用献血カード」をボックスに入れてあります。

## ・委員会報告

### 親睦委員会

- ・本日のニコニコ献金

石井 昌宏会員 入会記念祝として  
工藤 ゆかり会員 誕生祝として

## ・本日のプログラム

### 「基本的教育と識字率向上月間」

担当 クラブ運営委員会

#### 識字率が低い国の特徴

識字率が低い国は、「5歳未満児の死亡率」が高いという特徴があります。

以下の表は、前述した低識字率国の、識字率と「5歳未満児の死亡率」を並べたデータです。

(※「5歳未満児の死亡率」：出生時から満5歳に達する日までに死亡する確率。出生 1,000 人あたりの死亡数で表す)

国名	成人の識字率(%) 2011-2016年	5歳未満児 死亡率 の順位	5歳未満児 死亡率 2016年
ニジェール	15%	11	91
チャド	22%	2	127
南スーダン	27%	11	91
マリ	33%	5	111
中央アフリカ共和国	37%	3	127
後発開発途上国 平均	78%	-	68
世界 平均	63%	-	41

(※死亡率の順位は上位ほど死亡率が高くなる。最低順位は 192 位)

このデータを見る限り、識字率が低い国は、5歳未満児の死亡率が高い傾向があることがわかります。成人の識字率が 15%しかないニジェールでは、出生 1,000 人あたり 5歳の誕生日を迎えられずに命を落とす子どもが 91 人もいます。世界平均での 41 人、日本での 3 人と比べ、非常に多くの子どもが命を落としているのです。

#### 読み書きができないと起こる問題

日本における初等教育の純就学率は 100%であり、身体的・精神的ダイバーシティを持つ人を除けば、ほとんどの人が読み書きをすることができます。そのような社会では気づきにくいかもしれませんが、読

み書きができないことは、日常生活に大きな支障をもたらします。

### **仕事を選ぶことができない**

読み書きができなければ、安定した仕事に就くことは難しくなります。

現代社会において、読み書きを全くしなくても済む仕事は、いったいどれだけあるのでしょうか？ あなたの身の回りの仕事でも、業務中にマニュアルや資料を読んだり、報告書をやりとりしたりすることは、いたって普通のことでしょう。

もちろん職業に貴賤はありませんが、どんな仕事でも、少しでも改善しようとするれば、必ず読み書きをする場面は求められます。読み書きが不要な仕事となると、どうしても単調な仕事、危険な仕事に限られてしまいます。

読み書きができる人が少ない社会では、企業が育ちづらく、国の経済も発展が難しくなります。結果、雇用機会も生まれづらく、貧困も解消されない、という負の連鎖に陥ります。

### **読み書きができないと起こる問題**

#### **公共サービスを正しく受けられない**

読み書きができないと、公共サービスを受けるために必要な情報を得て理解すること、手続きをすることができない、といった問題が起こります。

正しい情報を得ることができないことによって、意図しないトラブルを招いたり、悪意のある人に騙されてしまう危険もあります。

### **読み書きができないと起こる問題**

薬の説明や、注意書きを読むことができない

字が読めないと、薬を正しく服用することができません。病気になって、医者から薬を処方されても、

飲み方がわからない、ということが起こってしまうのです。

また、危険なエリアに注意書きがされていても、それに気づかず命の危険にさらされることも起こりえます。

### **読み書きができない理由とは**

ここまで、世界の識字率の現状と、読み書きができないことで起こりうる問題についてご説明してきました。

ここからは、子どもたちが読み書きができないまま、大人になってしまう原因をご説明していきます。

原因は、大きく3つあります。

学校が近くにない・教育の質が低い

学校が近くにないために教育を受けることができない子どもたちがいます。地域によっては、学校まで何時間も歩いて通わなければなりません。また、学校に行っても先生が来ていないことが日常的に起こるような国もあります。そうした環境では、継続的に学校に通うことが難しくなります。

また、少数民族の子どもたちが、正しく適切に教育を受けられないケースもあります。例えば、ベトナムの山岳地帯に暮らす少数民族の子どもたちはベトナム語の授業についていけず、学校を中退してしまうことが少なくありません。

### **読み書きができない理由とは**

#### **女性に教育は必要ないと考えられている**

女性には教育が必要ないという慣習が根強く残る地域もまだまだ存在します。女性は早く結婚して家事をするものだから、学校の勉強は役に立たないという考え方です。

また、学校に女性用のトイレがない、通学路で襲われてしまう危険があるといった理由で、女子生徒が

学校に通うことができない地域も存在します。

### 読み書きができない理由とは

#### 戦争や紛争が起こっている

2018年1月、ユニセフによると「世界の紛争や災害の影響を受ける国々に暮らす若者15歳～24歳のうち、読み書きができない人の数はおよそ10人に3人の5,900万人で、その割合は世界の非識字率の3倍にのぼる」と発表しています。

例えば、ヨルダンに住むシリア難民の子どもたちは、紛争で学校に行けない期間が長かったために授業で落ちこぼれたり、いじめや差別を受けて学校に通えなくなってしまうことがあります。

### ロータリーの取り組み

#### 教師の専門能力開発

現地の教育関係者と相談して適切な教員研修プログラムを立案し、学校と、地元または国のカリキュラムを補完するような実施方法を特定する。

#### 学校をつくる

アフガニスタンでは、貧困の連鎖を断ち切り、教育の不平等をなくすために、ロータリー会員が女子学校をつくりました。

#### 成人のための教育

米国デトロイトでは、成人の半数以上が十分な識字力をもたないと言われています。このような状況を受け、地元の非営利団体「ProLiteracy」と協力して、成人への個人指導を行う講師を募集し、研修を実施しました。

#### 新しい教授法の導入

南アフリカ、プエルトリコ、米国で採用されている

SOUNDS プログラムでは、子どもたちが文字を名前ではなく「音」で覚えるための教授法を教師たちに指導しています

#### 学校における水と衛生設備の改善

レバノンでは、生徒たちが元気に授業を受けられるよう、すべての公立学校にきれいな水を提供する設備を整えました。

#### 教育システムの向上

ケニアでは、貧しい子どもたちがより質の高い教育を受けられるよう、「教育のためのグローバルパートナーシップ (GPE)」および政府と協力しています。



#### ・次回のプログラム

9月23日(金) 休会(秋分の日)

9月30日(金)

「スポーツ例会」夜間例会

会場 【集合】18:10 釧路パレスボウル

焼肉ホルモンくしろ肉酒場金ちゃん

担当:親睦活動委員会

・点 鐘 菊地会長

今週の会報担当:澤山理恵会員